

28年度東部地区公開講座（ ひらがなシャッフル ）のレシピ

〈 ねらい、目的 〉

ばらばらに置かれた文字チップを操作して一つの言葉を作る活動を行ないながら、児童生徒の言葉の力や思考力を伸ばします。

〈 材料 〉

- ・ カラーボード 450×300×厚さ2mm 4枚
- ・ カラーボード 450×300×厚さ5mm 1枚
- ・ B5クリアケース 1個
- ・ ラミネートフィルムA4 6枚
- ・ 「ひらがな表」プリント 3枚
- ・ タイトル等プリント 2枚

準備物

はさみ、カッター、カッター板
両面テープ、定規

〈 作り方 〉

- ① 「ひらがな表」プリント3枚にラミネートをかけて切ります。
- ② 厚さ5mmのカラーボードを1辺4cmの正方形に切り分けます。(76個+予備分)
- ③ ラミネートをかけた平仮名カードを1辺4cmの正方形カラーボードに両面テープで貼り付け、ひらがなチップを作ります。(切り落とした部分で無地のチップを作っておくと、同じ文字を数回使う場合に便利です。)(余裕があれば、マグネットシートを貼ってホワイトボードにつけられるようにしておくと、使い勝手がよいです。)
- ④ 厚さ2mmのカラーボードをB5サイズに切って合わせて、8枚のボードにします。
- ⑤ ひらがな2文字用、3文字用、4文字用、5文字用の枠に合わせて、B5サイズにした厚さ2mmのカラーボードの中心を切り抜きます。
- ⑥ 残りの厚さ2mmのカラーボードと文字枠に合わせて真ん中を切り抜いたボードを合わせて両面テープで貼り付けます。
- ⑦ 2枚のカラーボードを合わせてできた凹みの部分に、文字枠のカードを貼り付けます。
- ⑧ 教材名や〇もじ、**どんなことばができるかな?**のカードにラミネートをかけ、ケースやボードに貼り付けます。
- ⑨ 文字枠の凹みにひらがなチップがスムーズに入るよう、ひらがなチップの端を削って調整します。

〈 使い方 〉

- (1) ひらがなチップをばらばらに置き、一つの言葉を作るようにします。
- (2) たくさんのひらがなチップを置き、その中から有意味の言葉を探し出して枠にはめるようにします。
- (3) ひらがなチップを一つだけ置き、そこから言葉を作るようにします。
- (4) 児童生徒同士で、問題を出し合わせるようにします。

〈 参考文献 〉 「ワーキングメモリーとコミュニケーションの基礎を育てる聞き取りワークシート」